

平成27年度糖尿病対策成果発表会発表概要

金沢地域における糖尿病診療連携に関する連絡会議

金沢市医師会 竹田康男

金沢市における糖尿病重症化
予防事業の結果報告
(2010年～2014年)

背景

- 2008年から、特定健診、特定保健指導が開始され、2010年、国は、都道府県別の結果を公表した。石川県でのHbA1c 6.5%以上の割合が、全受診者の8.5%と高く、全国でワースト4位、金沢市国保単独の結果は、10.3%とそれ以上に悪い結果であった。金沢市国保の特定健診の90%以上は、金沢市医師会に依頼され、実施している経緯から、金沢市の協力のもと、金沢市医師会は、新たに糖尿病重症化予防事業に着手した。

特定健診有所見者の状況

※HbA1cはNGSP

全医療保険者（H22年）

金沢市 10.4%
1位の鹿児島より高い

	腹囲 基準値以上	中性脂肪 300以上	LDLコレステロール 140以上	収縮期血圧 140以上	HbA1c 6.5以上
1位	沖縄 42.0	沖縄 4.4	奈良 32.5	和歌山 24.2	鹿児島 8.9
10位					石川 8.5
20位		全国 3.4			(4位)
30位	全国 32.1		全国 29.3	全国 18.7	全国 7.2
40位		石川 3.2			
48位	石川 31.5 (37位)	(35位)	石川 27.4 (40位)	(46位)	
	鳥取 28.3	島根 2.8	秋田 23.9	石川 17.1	
				神奈川 16.3	神奈川 6.0

平成26年糖尿病対策事業

1)病診連携の強化

2)金沢市民への糖尿病に対する教育
と受診勧奨

3)保健指導 重症化予防

4)医療従事者の理解の向上

金沢地域における糖尿病診療連携に関する連絡会議の開催

(目的)

金沢市内の糖尿病診療に関わる医療機関や関係団体の連携を深めるために開催

(構成機関)

金沢市医師会、金沢大学附属病院、県立中央病院、金沢赤十字病院、金沢医療センター、
済生会金沢病院、金沢市立病院、JCHO金沢病院、浅ノ川総合病院、北陸病院、金沢西病
院、敬愛病院、能登内科医院、薬剤師会、栄養士会、金沢市、石川県医師会、石川県

(議題) ※平成27年度の連絡会は、10月5日(木)19時～県庁会議室で開催

1. 金沢市医師会・金沢市の取り組み 竹田康男

- ・保健指導の対象者の拡充
- ・地域出前講座の開催
- ・**ハートネットホスピタル 介護との連携 大野秀棋 先生** など

2. 各医療機関・研究会の取り組み

- ・金沢赤十字病院や金沢市北西部糖尿病地域医療研究会(NOWDMネット)
などによる、かかりつけ医や医療従事者を対象とした研修会の開催 など

3. 関係団体における取組

- ・薬剤師会の取り組み(健康情報拠点推進事業の実施状況)
- ・栄養士会(栄養ケアステーションの現況) など

金沢地域における糖尿病診療連携に関する連絡会議 (写真)



1. 石川糖尿病連携医・石川糖尿病療養指導士認定制度の創設

認定制度創設の目的

- ・糖尿病患者の重症化を予防するためには、「安定期治療を担う医療機関(かかりつけ医)」を中心に、「専門医療機関・合併症対応医療機関」、「かかりつけ眼科医」、「かかりつけ歯科医」、「薬局」、「市町」などが協力し、地域ぐるみで患者に関わる体制を構築することが望まれる。
- ・こうした「安定期治療を担う医療機関」を中心とした診療ネットワークを構築するため、石川県医師会(糖尿病対策推進会議)が定めた要件を満たす医師を『**石川糖尿病連携医**』として認定する。
- ・また、「安定期治療を担う医療機関」における療養指導を充実させるため、石川県医師会(糖尿病対策推進会議)が定めた要件を満たす医療従事者を『**石川糖尿病療養指導士(CDE石川)**』として認定する。

概 要

糖尿病連携医

<認定要件> ※ 認定期間は5年間、認定料3,000円

- ① 石川県医師会が認定した研修会を2年で10単位以上受講していること
- ② 糖尿病患者を実際に診療していること
- ③ 糖尿病連携手帳または地域連携クリティカルパスを活用した地域連携に取り組んでいること
- ④ 糖尿病対策推進会議が作成した「糖尿病の紹介・連携基準」を参考に、他の医療機関との連携に努めていること

<更新要件> ※ 更新料3,000円

更新までの5年間に、石川県医師会が認定した研修会等(学会・講習会を含む)を15単位以上受講していること

糖尿病療養指導士

<認定要件> ※ 認定期間は5年間、認定料3,000円

石川県糖尿病療養指導士研究会が開催する研修会(5回シリーズ)を受講していること

<更新要件> ※ 更新料3,000円

更新までの5年間に、石川県医師会が認定した研修会等(学会・講習会を含む)を15単位以上受講していること

石川版糖尿病連携医・糖尿病療養指導士認定制度の現況

認定状況

職種 \ 認定日	平成26年 10月01日	平成27年 01月01日	平成27年 04月01日	平成27年 07月01日	平成27年 10月01日	平成28年 01月01日	合計
医師			4人	2人	2人	2人	10人
歯科医師			9人				9人
薬剤師	5人		6人		1人	1人	13人
保健師			5人			1人	6人
看護師	4人		44人	5人	2人	2人	57人
准看護師			7人				7人
管理栄養士	11人		4人	3人			18人
栄養士	1人						1人
臨床検査技師	2人	1人	30人	2人			35人
理学療法士			3人				3人
作業療法士							0人
その他			3人	2人	1人		6人
			<small>歯科衛生士 1 医療事務 2</small>	<small>助産師 2</small>	<small>医療事務 1</small>		
合計	23人	1人	115人	14人	6人	6人	165人

平成26年糖尿病対策事業

- 1) 病診連携の強化
- 2) 金沢市民への糖尿病に対する教育
と受診勧奨
- 3) 保健指導 重症化予防
- 4) 医療従事者の理解の向上

金沢市の公民館数(約60件)



金沢市・金沢市医師会の取組(地域出前講座の開催)

(目的)

糖尿病性腎症による人工透析への移行を抑制するために、広く市民に対して糖尿病の重症化予防および健診受診の必要性について啓発し、また、健康推進委員による特定健診の受診を勧奨することにより、健診受診率の向上を図る。

(対象者)

地区住民、地区の健康推進委員
(市内全域60地区を3年間で巡回)

(内容)

講 話 「糖尿病予防と健康診査について」
講師 金沢市医師会派遣の医師

ミニ講話 「地区の状況と健康診査のお知らせ」
講師 地区担当保健師

(実績)

9地区実施(平均約40名参加)、3地区計画済み
(平成26年8月末現在)

西校下

健康講座のお知らせ

～受けてみまっし健康診査～

生活習慣病のほとんどは、自覚症状がないまま進行し、自覚症状が出たときには重症であることが少なくありません。

病気になる前に、からだの変化を知る方法として「特定健康診査」があります。石川県は、糖尿病に関する検査項目の異常値を示す人の割合が高いといわれています。糖尿病だけではなく、大切な心臓や肝臓、腎臓の状態もわかるので、年に一度は健診を受診しましょう。

日 時：平成26年9月26日(金)

午後7時30分～9時

場 所：金沢市西公民館 2階大ホール

講 師：わかさ内科クリニック

院長 若狭 豊 先生

内 容：「糖尿病予防と健康診査について」

対象者：西校下にお住いの方

参加費：無料



・・・お気軽にご参加ください・・・

【問い合わせ先】 金沢市西公民館 (電話：262-6716)

*主催:金沢市、金沢市医師会 共催:西校下町会連合会、金沢・健康を守る市民の会

地区担当保健師による 「地域の状況と健康診査について」のミニ講話



消費金額が高い食品(金沢市)

(総務省家計調査
H24～26年調査)

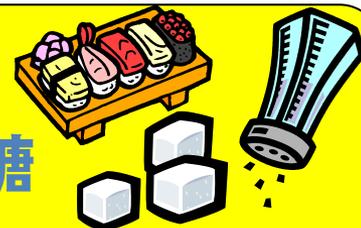
県庁所在地および川崎市・浜松市・堺市・北九州市のランキング (全51都市)

	金額
●菓子類	第1位
●ケーキ	第1位
●チョコレート	第1位
●アイスクリーム	第1位
●プリン	第2位
●カステラ	第3位
●コーヒー・ココア	第1位
●乳酸菌飲料	第3位
●外食(すし)	第4位
●カレールー	第2位

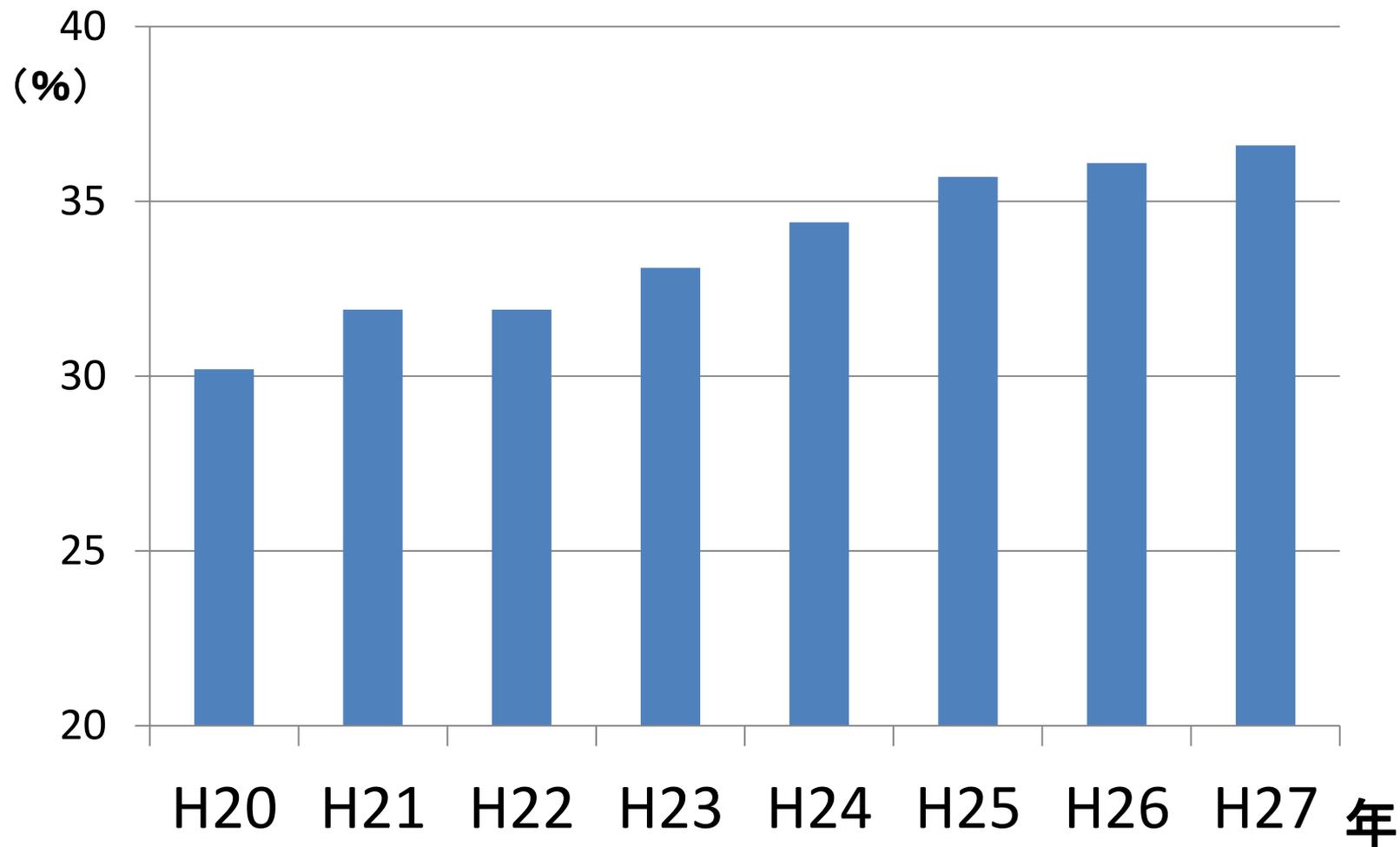
菓子類は
ほとんどが
上位!



酢飯は
塩と砂糖



金沢市の特定健診受診率



平成26年糖尿病対策事業

- 1) 病診連携の強化
- 2) 金沢市民への糖尿病に対する教育
と受診勧奨
- 3) 保健指導 重症化予防
- 4) 医療従事者の理解の向上

H25年度糖尿病フローチャート

特定健診・特定保健指導

特定健診受診者26,635人、受診率35.7%
すこやか検診(約9割) 集団検診(約1割)

HbA1c実施 26,631人

HbA1c6.5以上 2,235人(8.4%)

受診勧奨のための
保健指導対象者

訪問や面接等で
保健指導を実施

A 3疾患(血圧、脂質、糖尿病)治療中
1,825人(81.7%)

D 3疾患治療なし
410人(18.3%)

B 糖尿病治療中
1,290人(57.7%)

C 血圧、脂質治療中
535人(24.0%)

HbA1c	糖尿病治療中 (B)	血圧、脂質治療中 (C)	3疾患治療なし (D)
6.5~6.9	580人 26.0%	371人 16.6%	217人 9.7%
7.0~7.9	501人 22.4%	134人 6.0%	122人 5.5%
8.0~	209人 9.4%	30人 1.3%	71人 3.2%

生活習慣病重症化予防事業連絡会



金沢市における糖尿病対策に係る取り組み

●【特定保健指導】

平成21年度からは、HbA1c(NGSP値)7.4%以上
平成23年度からは、6.5%以上を優先に保健指導



●【慢性腎臓病予防対策事業】平成22年度～

特定保健指導対象以外の受診勧奨レベルの方のうち、慢性腎臓病（CKD）のリスクの高い方を保健指導



●【慢性腎臓病予防対策事業】平成25年度～

慢性腎臓病（CKD）予防訪問の対象者のうち
HbA1c(NGSP値)7.4%以上→6.5%以上に拡大実施



●【生活習慣病重症化予防事業】平成26年度～

これまでの慢性腎臓病（CKD）予防のための保健指導対象者を生活習慣病重症化予防の視点で対象者を拡大し、特定保健指導と保健指導体制を一元化して実施

平成26年糖尿病対策事業

- 1) 病診連携の強化
- 2) 金沢市民への糖尿病に対する教育
と受診勧奨
- 3) 保健指導 重症化予防
- 4) 医療従事者の理解の向上



平成26年度すこやか検診説明会
演題「糖尿病の最近の話題」

講師 金沢赤十字病院 副院長 西村 泰行 先生



検診ご担当者様

金沢市医師会

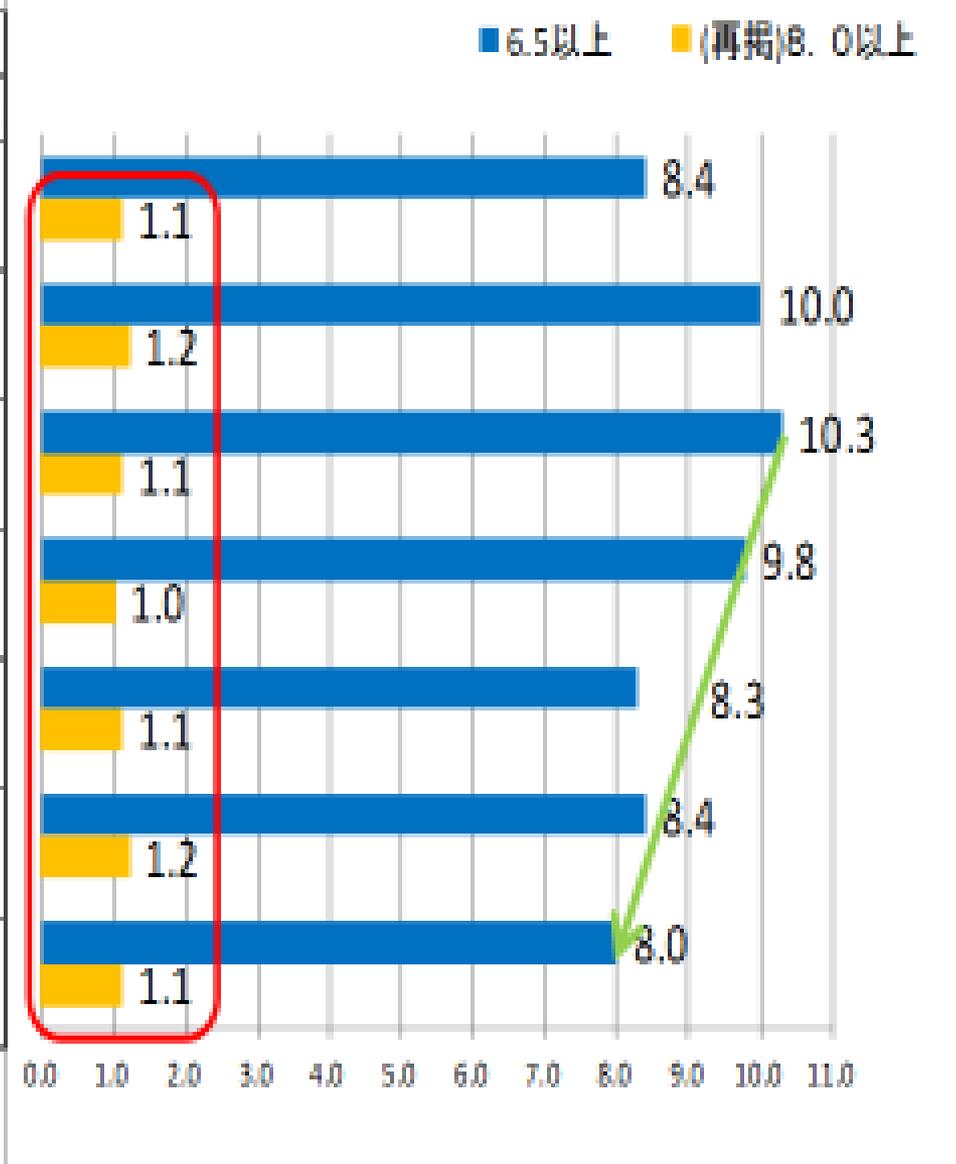
平成26年度特定健診受診の HbA1c8.0以上あった方について

- 時下陽春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、当会健診事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、糖尿病患者の重症化を予防するためには、安定期治療を担う医療機関(かかりつけ医)を中心に、専門医療機関・合併症対応医療機関などが協力し、継続治療をする事は言うまでもありません。つきましては、貴病・医院にて平成26年度に特定健診を受診された方でHbA1c8.0以上の方を次のとおりお知らせいたしますので、継続治療に対してご留意いただきますようお願い申し上げます。

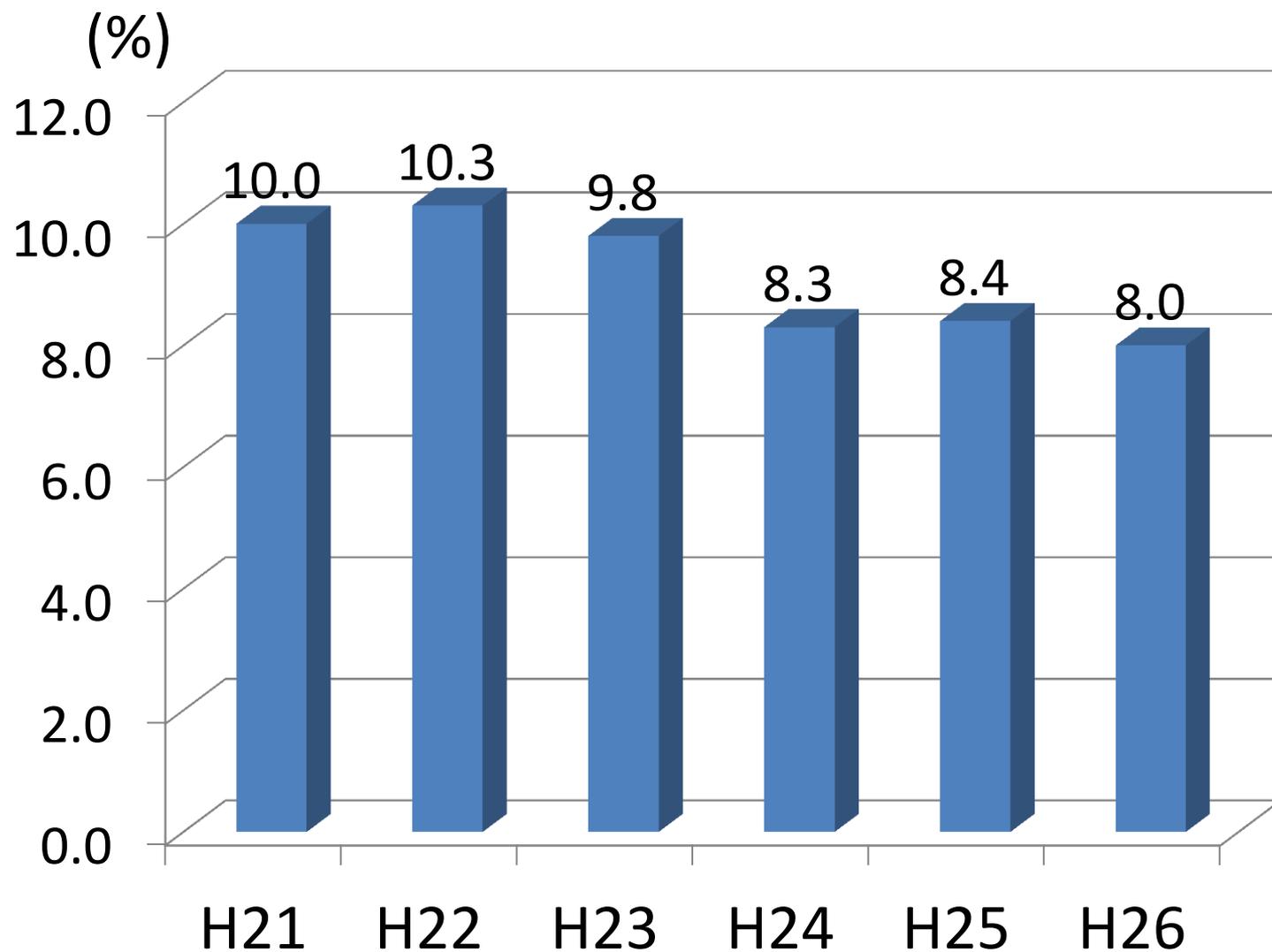
	氏名	受診日	HbA1c値
1	ヤ	20140722	13.6
2	ク	20140922	10.6
3	ウ	20140807	10.3
4	オ	20141024	10.1
5	カ	20140718	9.5
6	ヤ	20140807	9.4
7	カ	20140707	8.9
8	ハ	20141011	8.3
9	ナ	20140808	8

年度別のHbA1c検査結果

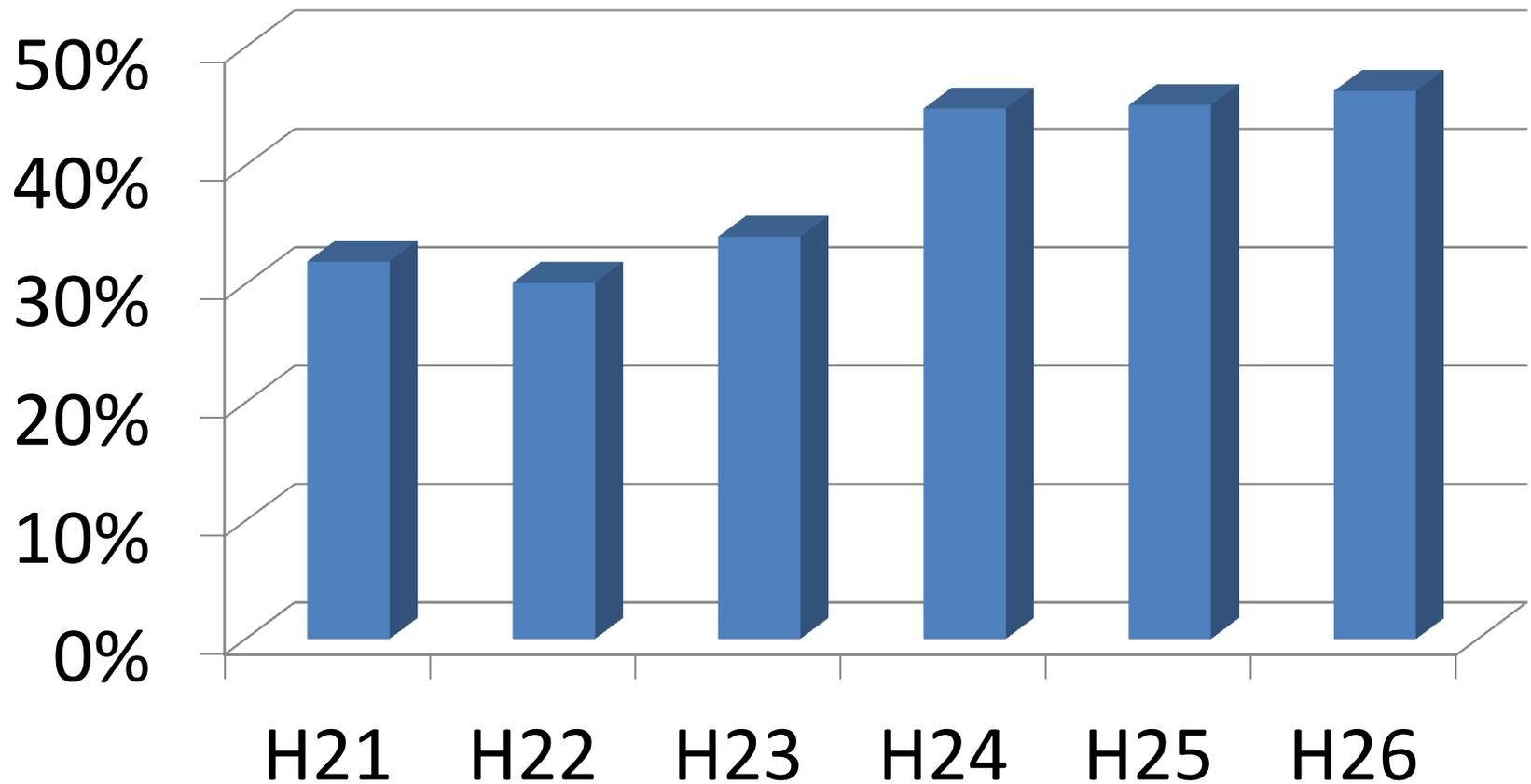
年度	HbA1c 実施者	5.5以下	5.6-6.4	6.5以上	
				再掲)8.0以上	
H20	20,272	9,996 49.3	8,579 42.3	1,697 8.4	224 1.1
H21	22,220	7,907 31.9	12,905 58.1	2,218 10.0	268 1.2
H22	22,769	6,844 30.1	13,572 59.6	2,353 10.3	249 1.1
H23	23,409	7,962 34.0	13,152 56.2	2,295 9.8	237 1.0
H24	25,425	11,360 44.8	11,880 46.9	2,094 8.3	290 1.1
H25	26,631	12,004 45.1	12,393 46.5	2,235 8.4	310 1.2
H26	26,763	12,384 46.3	12,223 45.7	2,156 8.0	285 1.1



すこやか検診HbA1c 6.5%以上全体の割合



HbA1c 5.5%以下の正常者



すこやか検診全受診者における HbA1cの年度別平均値の推移

HbA1c(%)

6.00

5.95

5.90

5.85

5.80

5.75

5.70

5.65

5.60

H21年

H22年

H23年

H24年

H25年

H26年

5.85

5.88

5.84

5.75

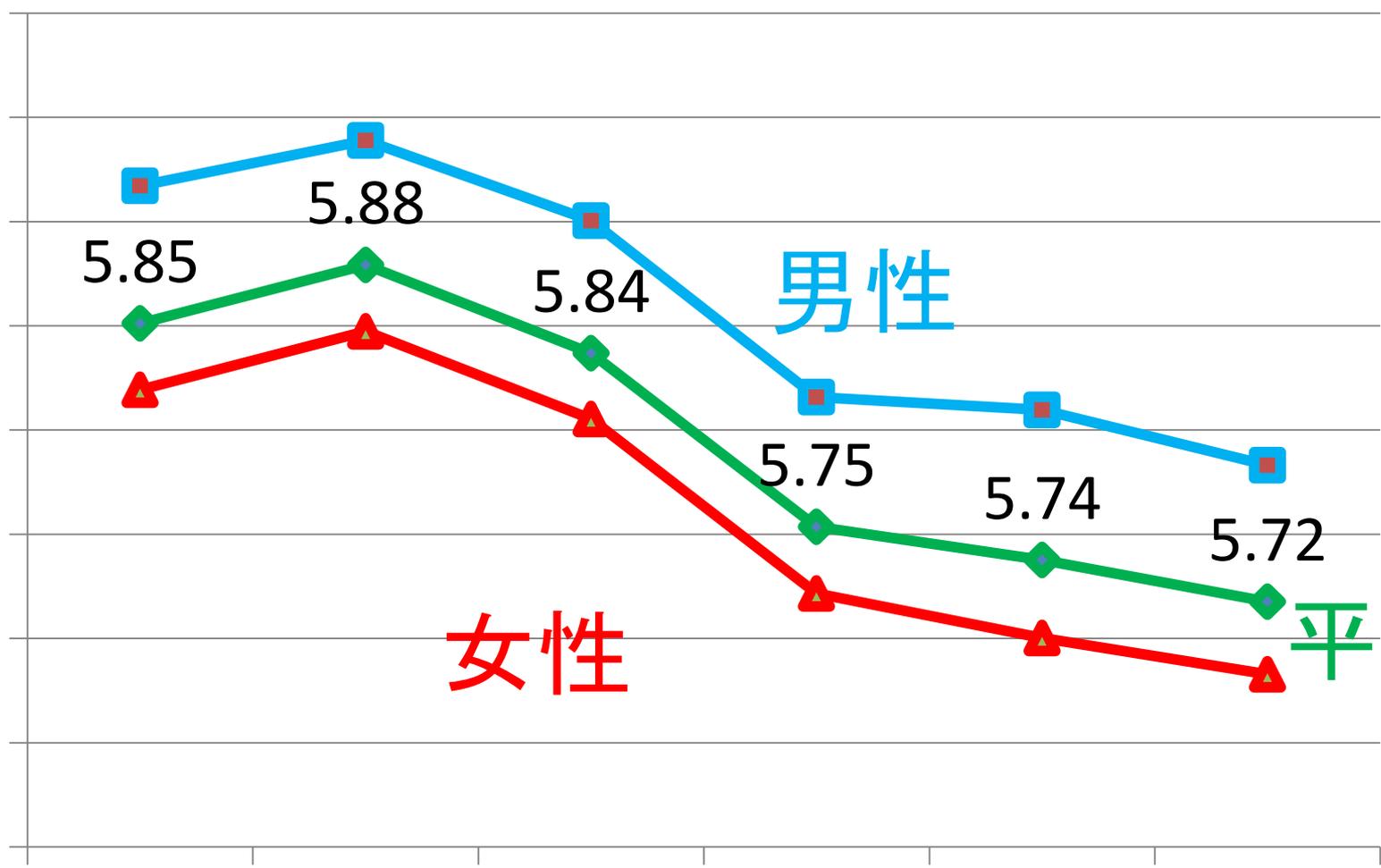
5.74

5.72

男性

女性

平均



結果

- 金沢市の特定健診対象者、約75,000人。2010年から2014年の間で、
- 受診率は、31.9%から36.1%へ上昇、
- HbA1c 6.5 %以上の割合は、10.3%から8.0%へと著明な改善を認めた。
- 特にHbA1c 5.5%以下の割合が、30.1%から46.3%と増加した。
- 全受診者のHbA1cの平均数値も 5.88%から5.72%と改善を認めた。

H27年変更点 問題点

- 保健指導対象者の拡大
- 保健師さんの研修会 症例検討会
- 透析導入者
- 高齢者の糖尿病
- 特定健診 特定保健指導の現状

金沢市福祉健康センターが実施する健診結果に基づく個別保健指導

• 【H27年度 訪問対象基準】

- 1. 年齢 40歳～74歳
- 2. 健診結果 受診勧奨レベル
- 3. 治療の有無 治療なし(質問票:高血圧症・糖尿病・脂質異常症で服薬なし)
- 4. 上記1～3を満たし、以下の(1)～(6)のいずれかに該当
- (1)eGFR(推算糸球体濾過量) 40歳～69歳 :50 mL/min/1.73m² 未満
- 70歳～74歳 :40 mL/min/1.73m² 未満
- (2)尿蛋白(+)以上
- (3)HbA1c(NGSP値):6.5 % 以上
- (4)Ⅱ度高血圧以上:収縮期 160 mmHg 以上 拡張期血圧値 100 mmHg 以上
- (5)心電図所見:心房細動 虚血性変化
- (6)LDLコレステロール:180 mg/dl 以上 ← 170mg/dl以上
- (7) 40-50歳代の特定保健指導対象者
- 肝機能受診勧奨 AST 51 IU/L ALT 51 IU/L rGT 101 IU/L以上
- 中性脂肪 300mg/dl 以上
- 尿酸値 8.0mg/dl 以上

平成27年度

糖尿病重症化予防に係る 研修会

講師: 石川県立中央病院 糖尿病・内分泌内科部長 浅野 昭道 先生
金沢医療センター 内分泌・代謝内科部長 長岡 匡 先生
糖尿病療養指導士 坂尻 麻祐子 先生





糖尿病重症化予防に係る 研修会

開催日時：2024年10月10日（木）13:00～16:00
開催場所：〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
主催：日本糖尿病学会

講師席





講師

特定健診未受診者の状況(H25年度)

特定健診対象者
約72,000人



特定健診受診者26,635人、受診率35.7%
すこやか検診(約9割) 集団検診(約1割)

健診未受診者 約46,000人

A

生活習慣病治療なし
約21,000人
(健診対象者の約30%)

B

生活習慣病治療中
約25,000人
(健診対象者の約35%)

H25年検診受診と医療費 金沢市

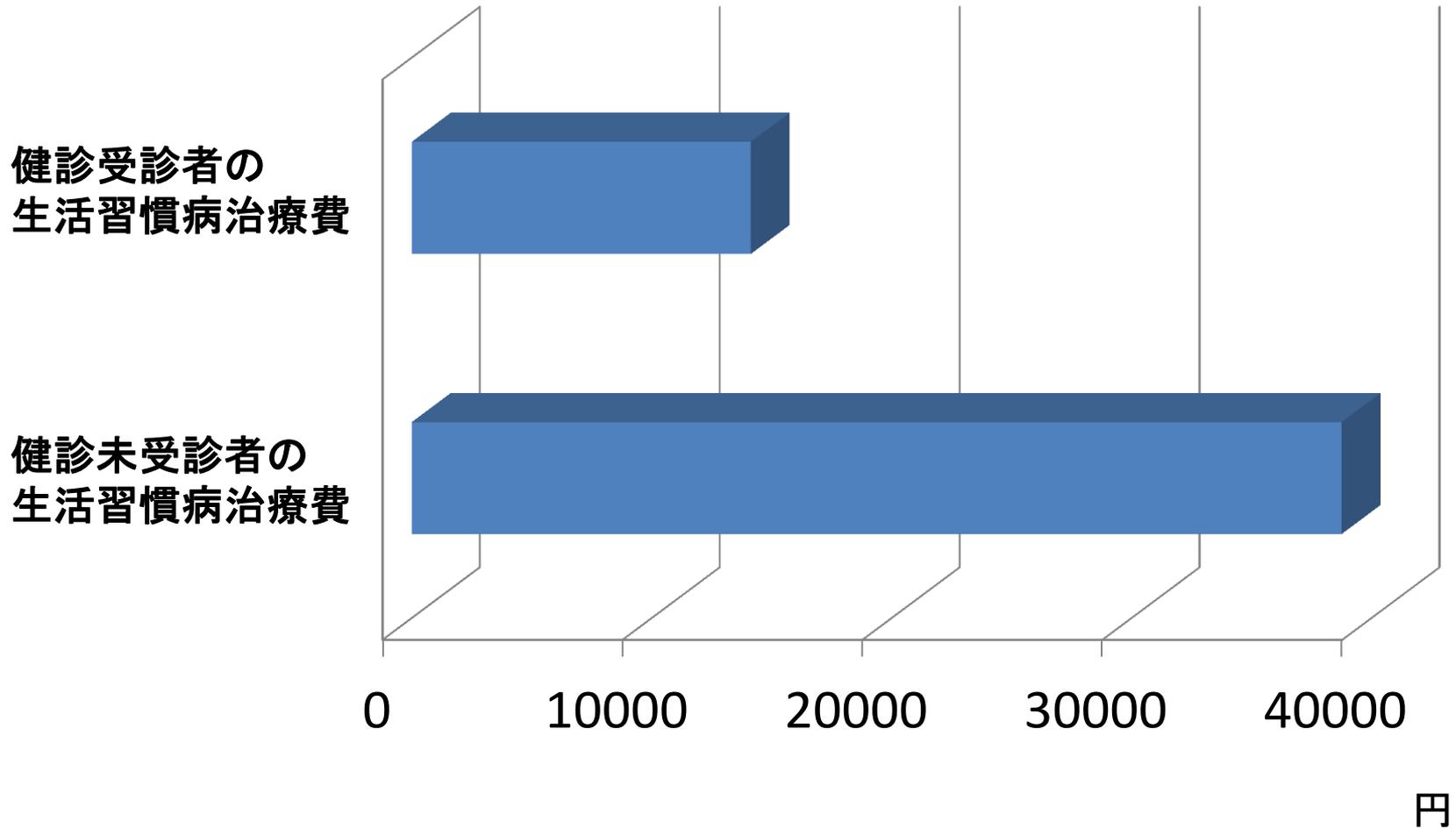


表2 所得と生活習慣等に関する状況(20歳以上)

2014年国民栄養調査

※世帯の所得額を当該世帯員に当てはめて解析

※★は600万円以上の世帯の世帯員と比較して、群間の有意差のあった項目

	世帯所得 200万円未満	世帯所得 200万円以上～600 万円未満	世帯所得 600万円以上	200万円 未満	200万円 以上～ 600万円
所得 健診受診率	200万以下	200-600万	600万以上		
男性	42.9%	27.2%	18.8%		
女性	40.8%	36.4%	18.5%		

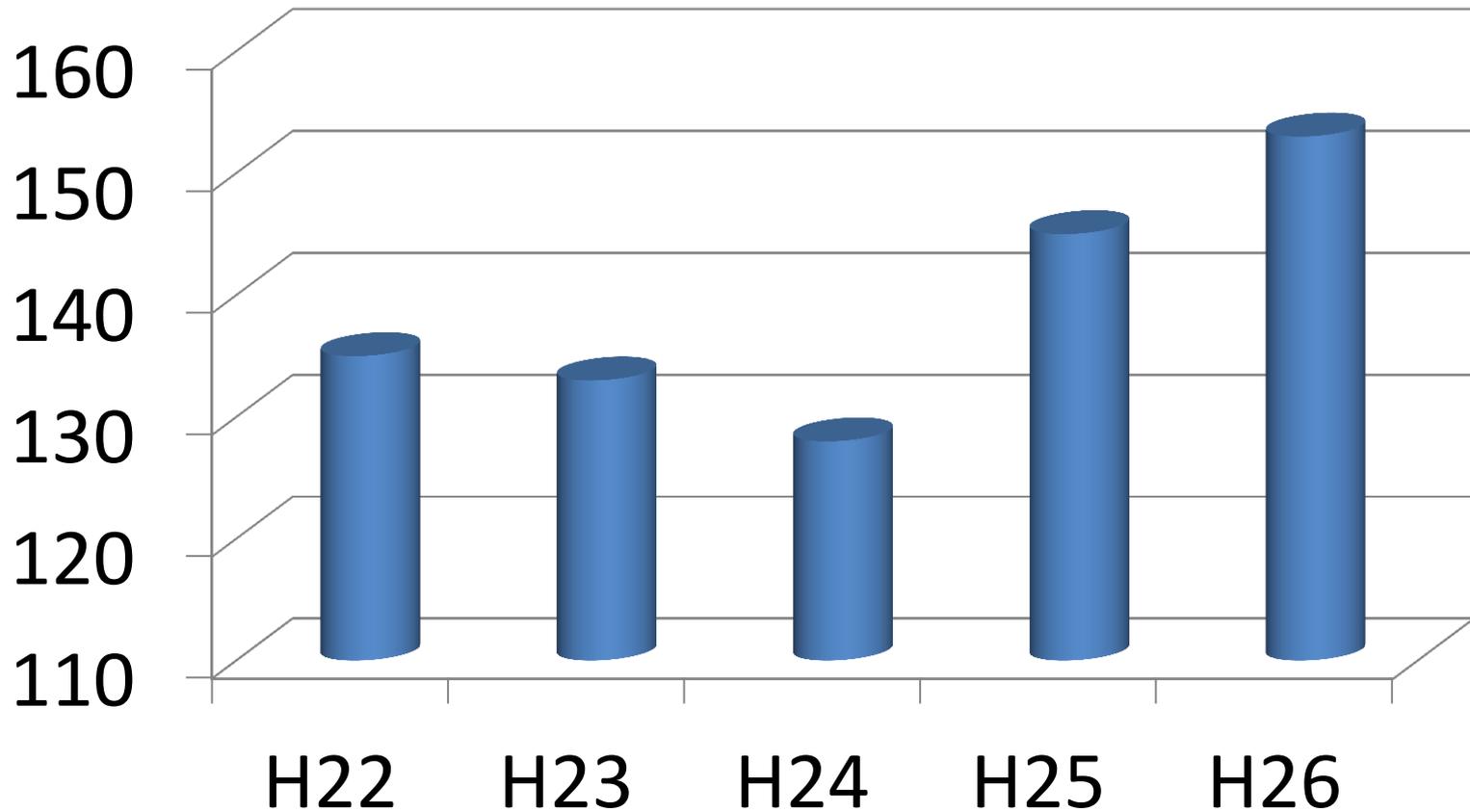
8. 歯の本数 20歯未満の者の割合(男性)

500 33.9% 1,844 27.5% 865 20.3% ★ ★

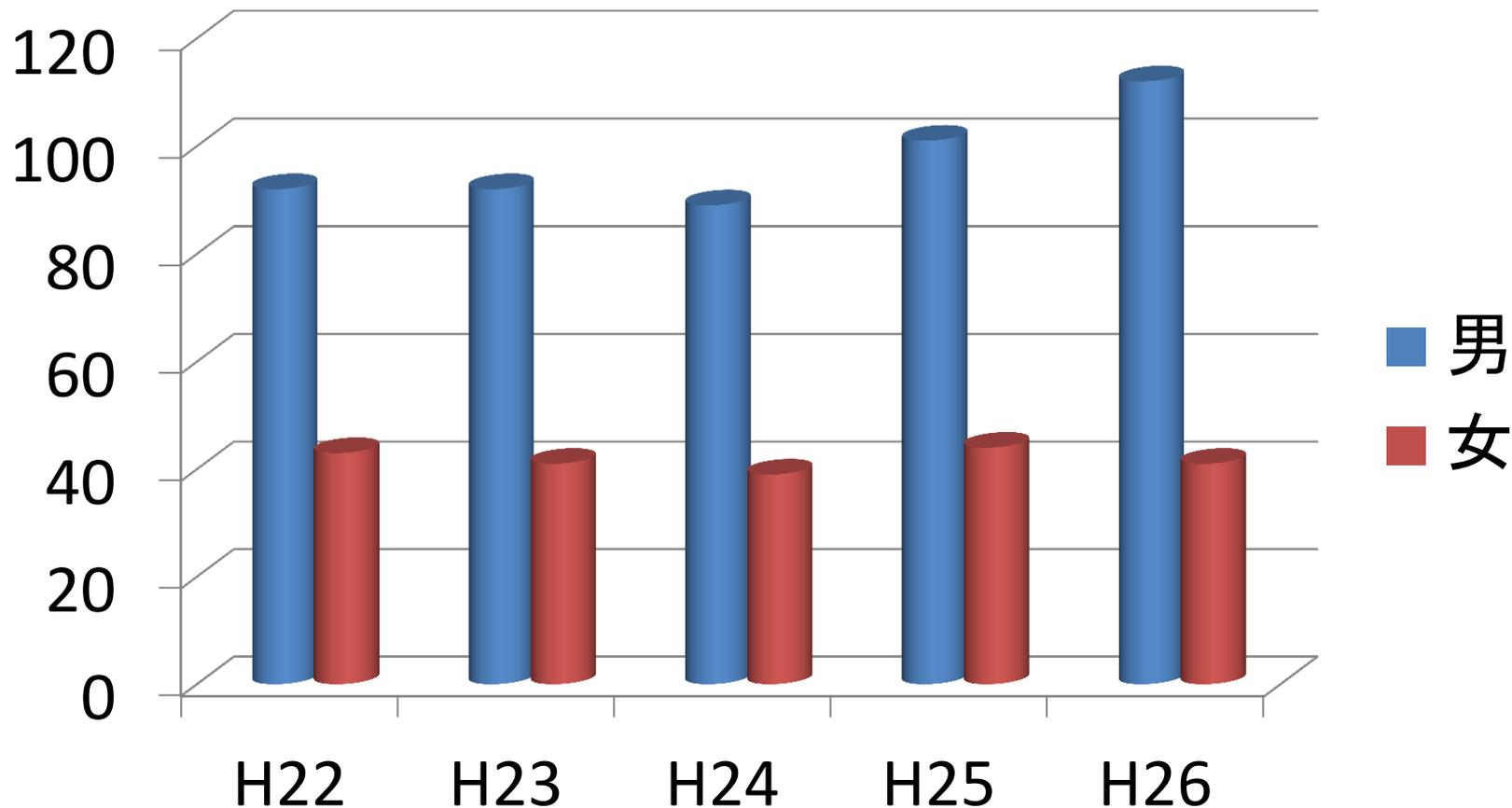
(女性)

702 31.2% 1,991 26.5% 936 25.8% ★ ★

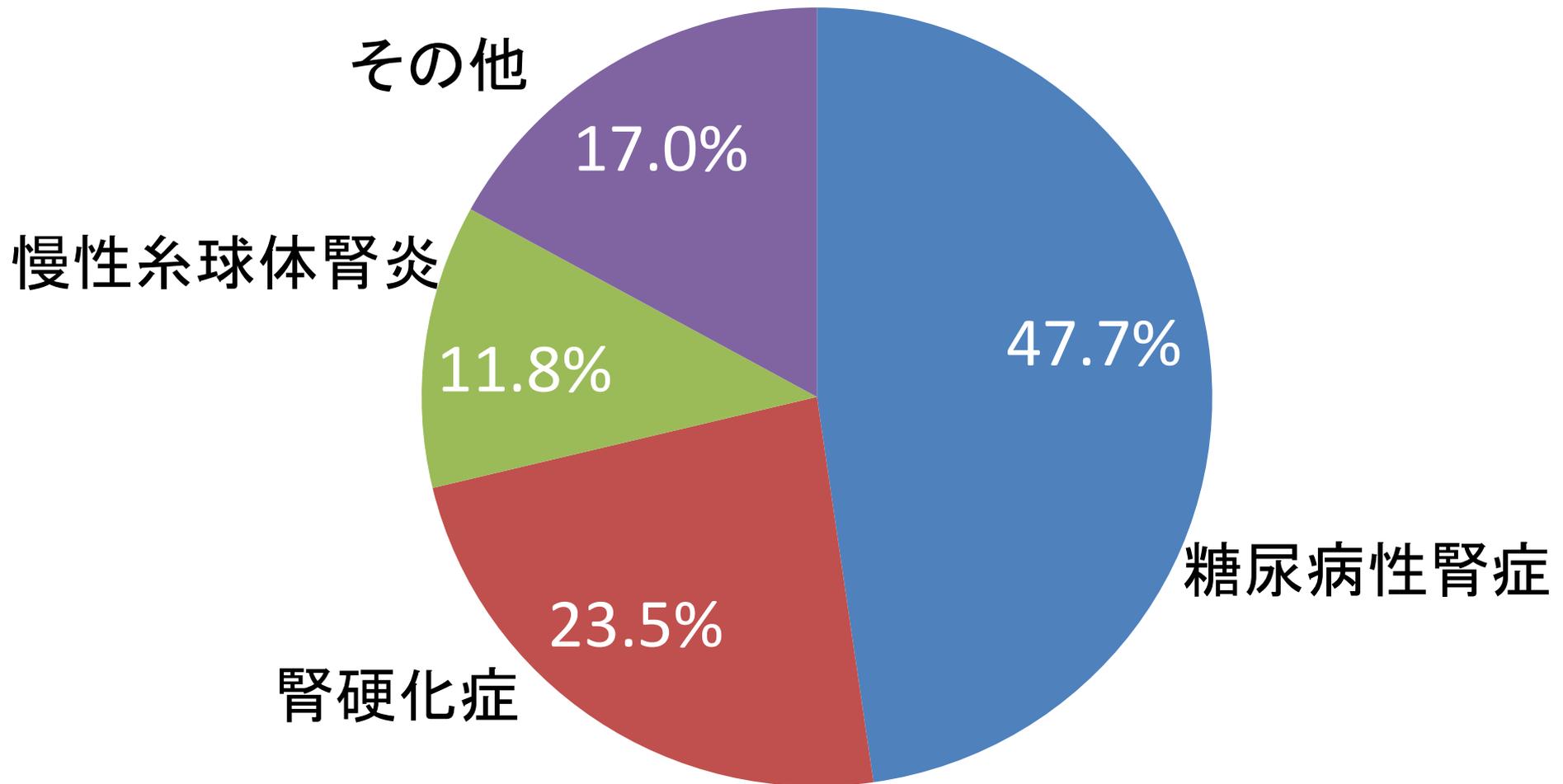
金沢市の透析導入人数



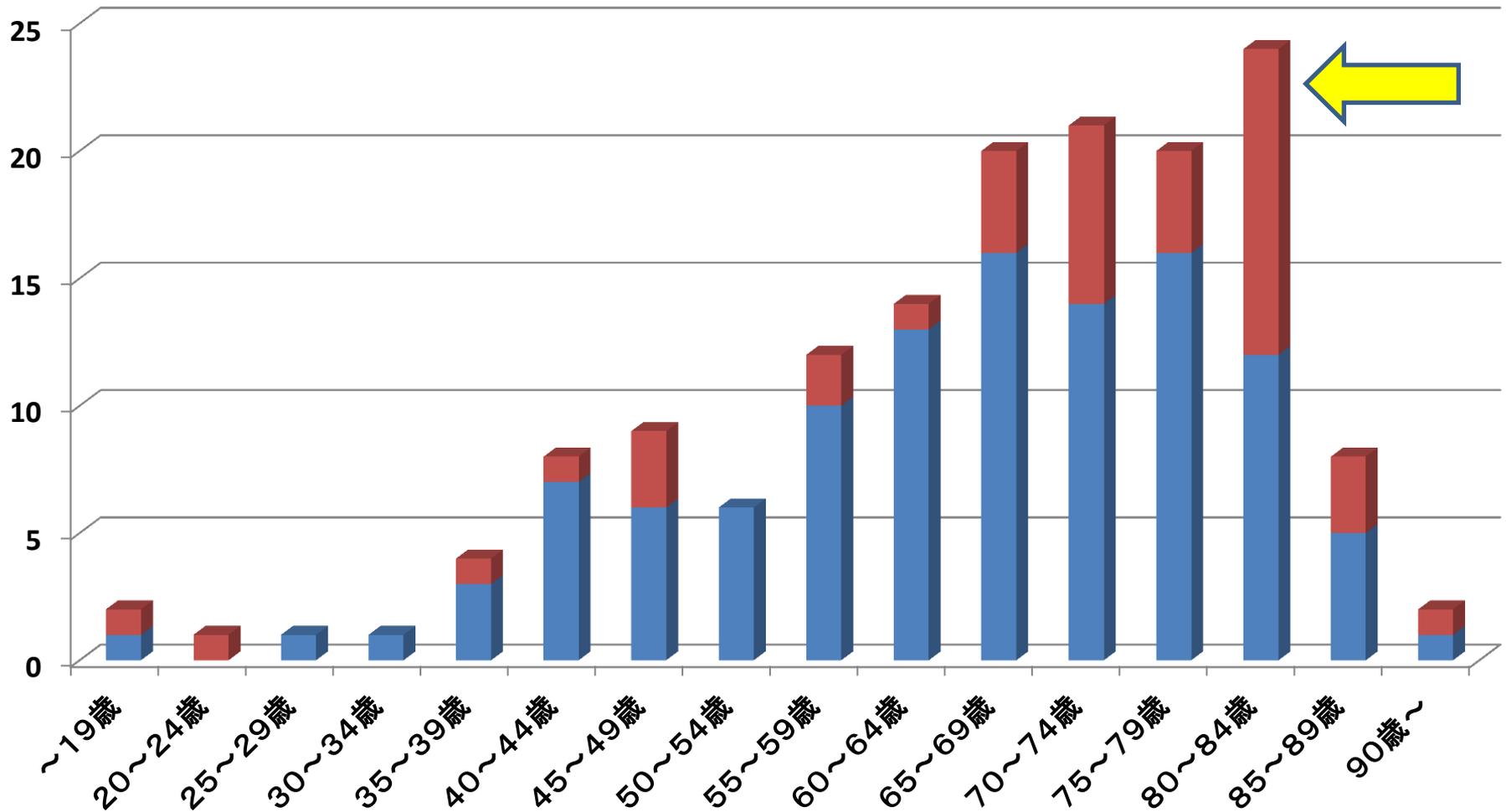
透析導入者男女別



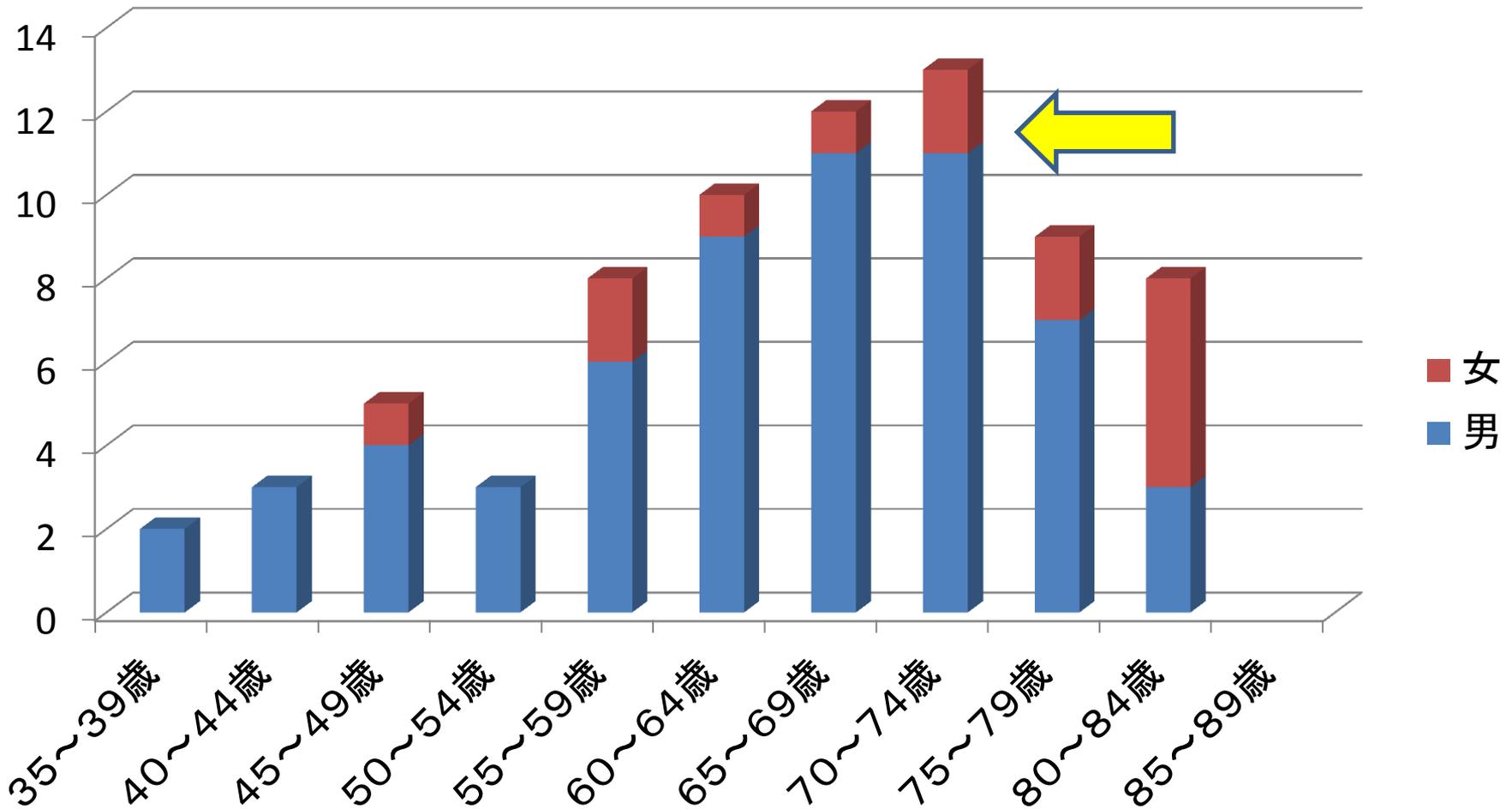
透析の原因疾患（2014年）



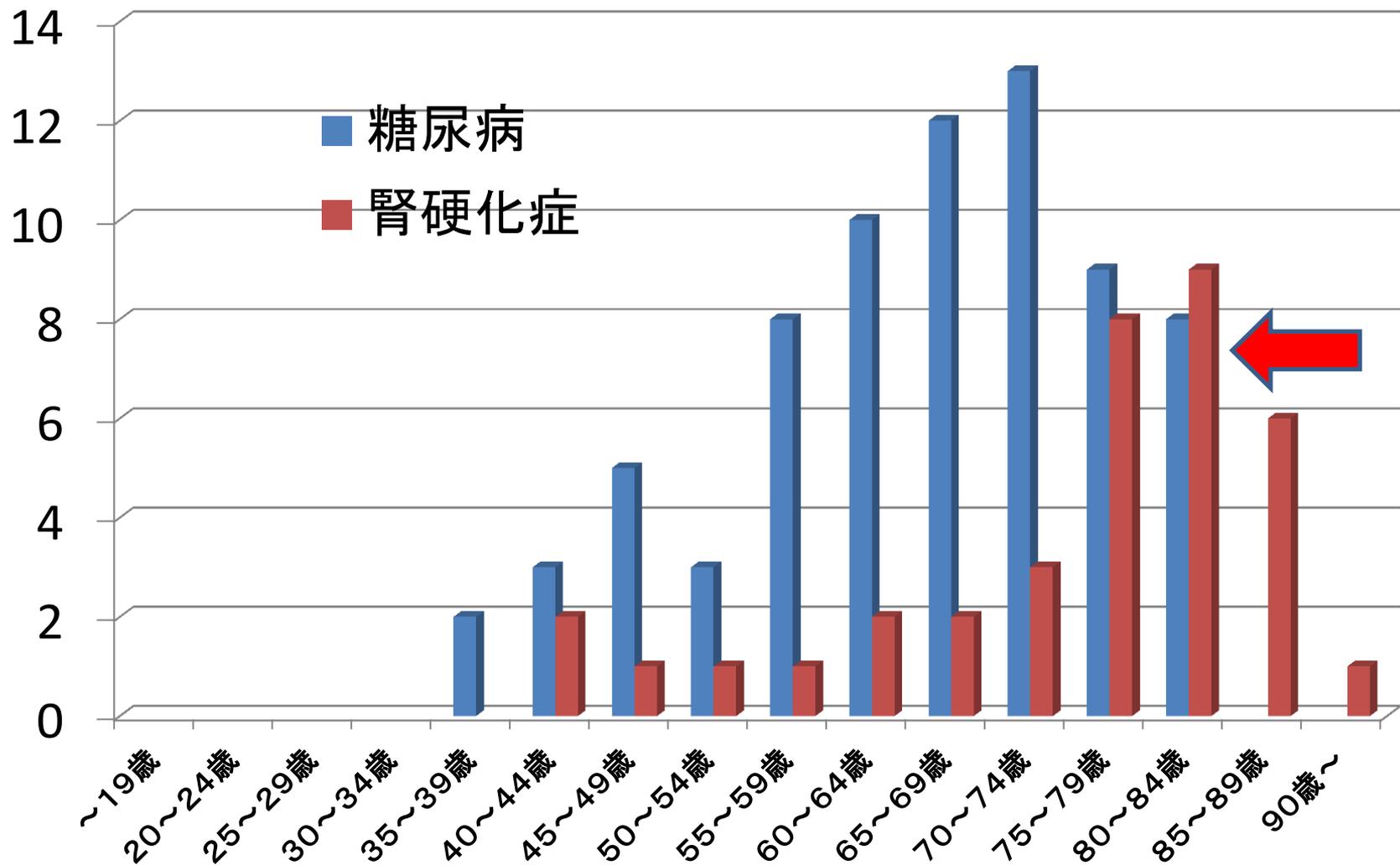
平成26年度透析導入者年齢分布



糖尿病性腎症の透析導入年齢分布

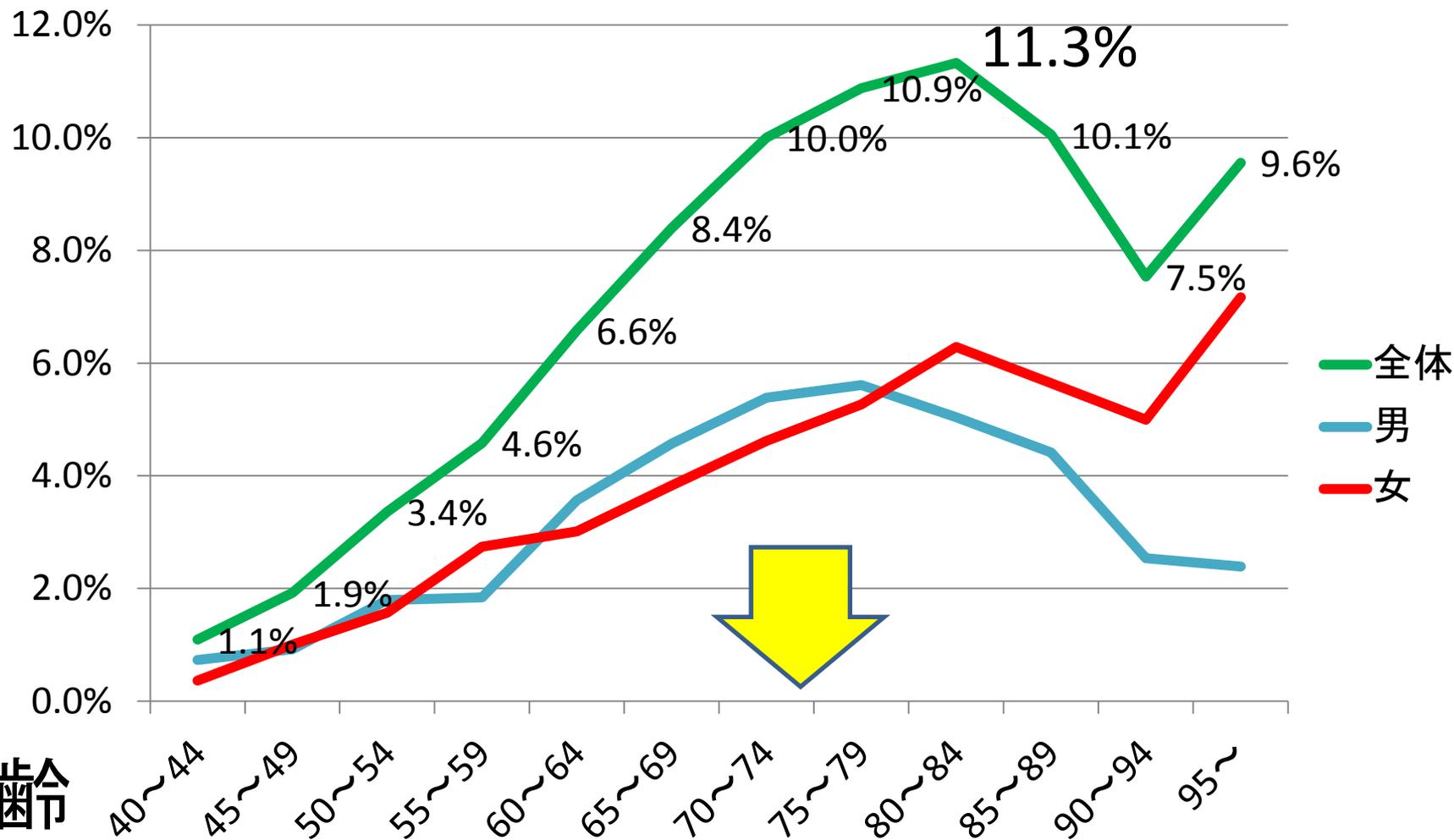


腎硬化症 糖尿病性腎症 年齢分布

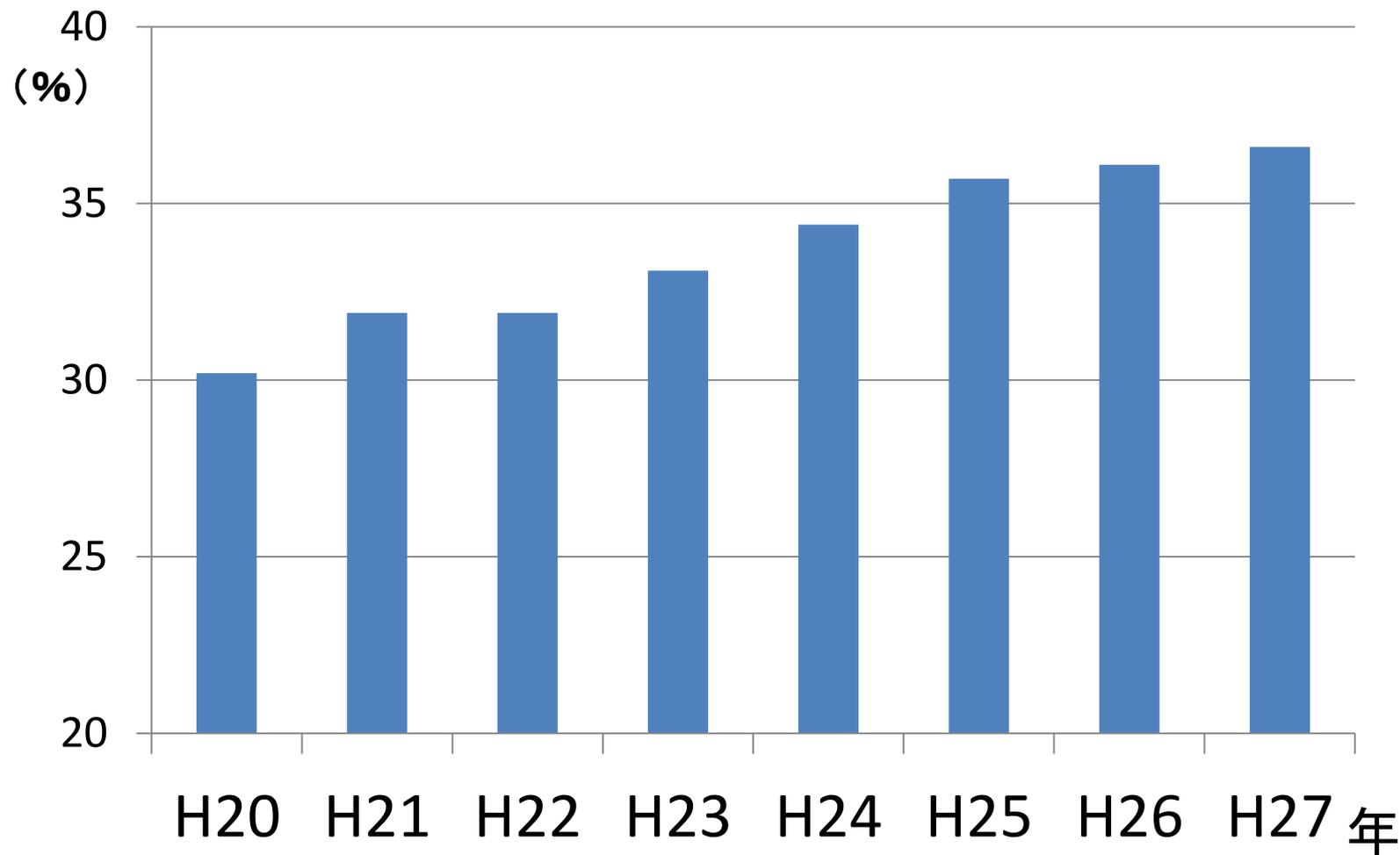


HbA1c 6.4%以上年齢分布

2014年



金沢市の特定健診受診率



特定健診

特定健診実施率

H27年

特定保健指導実施率

保健指導



金沢市



金沢市

